

第十号様式（第三条、第三条の三関係）

確認申請書（工作物）  
（第一面）

建築基準法第88条第1項において準用する同法第6条第1項又は第6条の2第1項の規定による確認を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

建築主事又は指定確認検査機関

様

申請時に記入  
してください。

令和〇年〇月〇日

申請者氏名

建築 花子

※手数料欄		
手数料の証紙は欄外に貼っても構いません。		
※受付欄	※決裁欄	※確認番号欄
年 月 日		年 月 日
第 号		第 号
係員印		係員印

証紙	証紙	証紙
----	----	----

【1. 築造主】

【イ. 氏名のフリガナ】 ケンチク ハナコ  
【ロ. 氏名】 建築 花子  
【ハ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
【ニ. 住所】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号  
【ホ. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

築造主が2以上の時は、ここに代表者を記入し、その他の築造主は、別紙に1欄の内容を記入してください。

【2. 代理者】

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 〇〇〇〇号  
【ロ. 氏名】 設計 太郎  
【ハ. 建築士事務所名】 (一級) 建築士事務所 (神奈川県) 知事登録第 〇〇〇〇号  
〇〇〇〇設計事務所 株式会社  
【ニ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
【ホ. 所在地】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号  
【ハ. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

築造主から建築確認申請の委任を受けた者を記入してください。

【3. 設計者】

(代表となる設計者)

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 〇〇〇〇号  
【ロ. 氏名】 設計 太郎  
【ハ. 建築士事務所名】 (一級) 建築士事務所 (神奈川県) 知事登録第 〇〇〇〇号  
株式会社〇〇〇〇設計事務所  
【ニ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
【ホ. 所在地】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号  
【ハ. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇  
【ト. 作成した設計図書】 書類一式(構造計算書を除く)

建築士の資格を記入した場合、それを証する書類(写し)が必要になります。

(その他の設計者)

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 〇〇〇〇号  
【ロ. 氏名】 構造 太郎  
【ハ. 建築士事務所名】 (一級) 建築士事務所 (神奈川県) 知事登録第 〇〇〇〇号  
株式会社〇〇〇〇設計事務所  
【ニ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
【ホ. 所在地】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号  
【ハ. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇  
【ト. 作成した設計図書】 構造計算書

・設計者が2以上である場合は、「代表となる設計者」と「その他の設計者」に分けて記入してください。  
・書ききれない場合は別紙に記入してください。  
・ト欄には、作成した図書を全て記入してください。また、設計者が一人の場合には、<全て>と記入してください。

【イ. 資格】 ( ) 建築士  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所

【ニ. 郵便番号】  
【ホ. 所在地】  
【ハ. 電話番号】  
【ト. 作成した設計図書】

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( )  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所

【2及び3欄について】

代表者又は設計者が建築士である場合は、イに資格を記入します。また建築士事務所に属しているときは、ハからヘ欄にその事務所を記入してください。属していない場合は、代理者又は設計者の住所を記入してください。

【ニ. 郵便番号】  
【ホ. 所在地】  
【ハ. 電話番号】  
【ト. 作成した設計図書】

- ・施工者が未定の場合は、「決定したい工事着手前に通知」と書きます。決定後、申請書(正本)及び副本に記入します。
- ・施工者が2以上の時は、ここに代表となる施工者を記入し、その他の施工者は、別紙に4欄の内容を記入してください。

【4. 工事施工者】

【イ. 氏名】 施工 二郎  
 【ロ. 営業所名】 建設業の許可 ( 大 臣 ) 第 〇〇〇〇号  
 〇〇〇〇建設 株式会社  
 【ハ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
 【ニ. 所在地】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号  
 【ホ. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

【5. 敷地の位置】

【イ. 地名地番】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番の〇〇  
 【ロ. 住居表示】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号

【6. 工作物の概要】(番号 1 )

【イ. 種類】(区分 06350 )  
 【ロ. 高さ】 2.5m  
 【ハ. 構造】 鉄筋コンクリート造  
 【ニ. 工事種別】 新築 増築 改築 その他 ( )  
 【ホ. その他必要な事項】

- ・複数の擁壁を同時申請する場合には、まず6欄の番号に「1」を記入し、複数の擁壁のうち、一つについて、イからホに記入をします。その他の擁壁については、別紙に6欄の内容を記入し、番号を「2」、「3」、「4」・・・とします。
- ・イ欄の区分は、擁壁の記号である「06350」を記入してください。
- ・ロ欄は、見付け高さで、最も高いところの高さを記入してください。
- ・ニ欄は「新築」にチェックをします。築造替の場合も同様です。

【7. 工事着手予定年月日 】 年 月 日

【8. 工事完了予定年月日 】 年 月 日

【9. 特定工程工事終了予定年月日 】 (特)  
 (第 回) 年 月 日 ( )  
 (第 回) 年 月 日 ( )

【10. 備考】

擁壁には、特定工程はないので、記入しません。

計画の変更申請の際には、10 欄に変更の概要を記入します。

【4. 工事施工者】

【イ.氏名】 施工 二郎  
【ロ.営業所名】 建設業の許可（ 大 臣 ）第 〇〇〇〇号  
〇〇〇〇建設 株式会社  
【ハ.郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇  
【ニ.所在地】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号  
【ホ.電話番号】 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

【5. 敷地の位置】

【イ.地名地番】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番の〇〇  
【ロ.住居表示】 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号  
【ハ.用途地域】 第1種低層住居専用地域  
【ニ.その他の区域又は地区】 宅地造成工事規制区域

・「申請部分」は、本件の確認のもの  
となります。「申請以外の部分」  
は、確認を要さないものです(2m  
以下の擁壁)。  
・築造面積は、記入しなくても構いま  
せん。

【6. 工作物の概要】

【イ.用途】 (区分 06350 )  
【ロ.高さ】 2.5m  
【ハ.工事種別】 新築 増築 改築 その他 ( )  
(申請部分 ) (申請以外の部分 ) (合計 )  
【ニ.築造面積】 ( ) ( ) ( )  
【ホ.工作物の数】 ( 1 ) ( 0 ) ( 1 )  
【ハ.その他必要な事項】

【7. 工事着手予定年月日】 令和〇年 〇月 〇日

【8. 工事完了予定年月日】 令和〇年 〇月 〇日

【9. 特定工程工事終了予定年月日】 (特定工程)

(第 回) 年 月 日 ( )  
(第 回) 年 月 日 ( )

【10. 許可等】

【11. 備考】